

平成 30 年 4 月 3 日

平成 29 年度 地域貢献活動支援報告書

地域イノベーション推進機構長 殿

所 属 人文学部
氏 名 吉丸雄哉

活動テーマ	落語を活かした地域活性化の取り組み
実施期間	平成 29 年 4 月 1 日 ～ 平成 30 年 3 月 31 日
活動内容	(1) 具体的な活動実施内容 今年度も、上方落語の噺家である林家菊丸三重大学社会連携特任教授と桂吉坊氏招聘して特別落語講座を行った。林家菊丸氏の特別落語講座は落語「胴乱の幸助一席」と講義「落語の構成力と笑いの普遍性」という落語の実演と落語に関する講義がセットになったもの。桂吉坊氏の特別落語講座は「桂吉坊に聞く落語の哲学」というテーマで落語「犬の目」一席と人文学部教員田中綾乃准教授との対談を行った。 (2) 地域への貢献（地域の発展・活性化への寄与，広がり） 学外からの講座への来場があった。アンケートからは満足度が高いことがうかがえた。また、学内の落語講座と同日あるいは近日に大学近くの共同実施者の劇場津あけぼの座で行われた落語会に学内者が赴いたことが確認できた。 (3) 共同実施者との連携状況 共同実施者とは綿密に連絡をとりながら分担された作業を行った。共同実施者の劇場や HP や DM といったものを通じて、本企画について広報を協力してもらった。また事前の広報活動、当日の高座の設営や運営に協力を得られたため、スムーズに事業を完了することができた。 また共同実施者が津あけぼの座で開催した桂吉坊「おてらくご特別編」

(平成 29 年 12 月 7 日) と菊丸落語 (平成 28 年 12 月 24 日) には、広報の連携をとって実施でき、共通する入場者を得た。

結果として学内者が学外の民間劇場で落語を楽しむようになり、また日頃学外の民間劇場での落語の観客を学内の講座に呼び寄せることができた。

(4) 大学の教育・研究成果のかかわり

学生がプロの上方落語の噺家の実演と落語講座に接することによって落語および日本の伝統文化への理解を深めた。また人文学部吉丸雄哉が林家菊丸氏、桂吉坊氏から落語について意見交換することで、今後の研究を深める手がかりを得た。

(5) イベント等開催実績 (名称, 実施場所, 参加人数等)

林家菊丸三重大学社会連携特任教授特別落語講座

日程: 平成 29 年 7 月 27 日

会場: 三重大学教養教育 3 号館 1131 教室

参加人数 62 人。

桂吉坊に聞く落語の哲学

日程: 平成 29 年 12 月 7 日

会場: 三重大学教養教育 3 号館 1121 教室

参加人数 76 人。

開催の内容と結果は添付の別資料を参照のこと。

(6) これまでの取組みによって得られた具体的な成果について

※継続 4 年目以降 (認定) の活動については、これまでの継続した取組みによって得られた具体的な成果について記述願います。

この欄該当せず。